

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用

現行の経営体制を継続
●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

・今のところ現行の経営体制・手法で健全な事業運営が実施できているため。
・給水人口の減による給水収益の減少や施設の老朽化に伴う更新需要費の増大など将来的な課題を鑑み、令和5年度には、令和3年度策定の「高千穂町水道事業ビジョン(経営戦略)」を基軸に、「水道料金適正化計画」の策定とそれを基にした「水道料金の改定」及び今後の施設更新を円滑に実施するための「管路更新計画」の策定を行った。これから継続的に実施されていくことになる施設の更新による収支の変動に注意しながら、効率的で安定した経営体制が継続できるよう検討・協議を重ねていく。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	簡易水道事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

- ・知見やノウハウ不足により抜本的な改革の計画に至らないため
- ・事業の規模が小さく、人員が少ないため抜本的な改革の検討に至らないため

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	病院事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(水道・簡易水道・下水道事業以外)広域化等		
実施済		(取組の概要) 西臼杵郡3町(高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町)の公立病院のあり方については、令和3年10月に発表した「西臼杵地域における医療連携に係る基本構想」に基づき西臼杵の3公立病院の経営統合及び機能再編を進めるため西臼杵地域公立病院統合再編協議会を設置して取り組んできた。当院においては令和5年4月より病床機能の転換を行い(療養病床を一般病床へ)、令和6年4月からは西臼杵3町の病院事業を一部事務組合(地方公営企業法全部適用)で経営統合する予定である。	(実施(予定)時期)	
実施予定	●		令和 6 年	4 月
		(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)	
		25.6 百万円(年)	医業損益の赤字を令和4年度実績値▲212百万円から令和9年度(プラン最終年度)に▲84百万円まで圧縮していく計画としている。	
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用

現行の経営体制を継続
●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

地形的に広域化は困難であり、人口減とともに処理量も減る想定であるため、経営戦略としても維持管理が主な取り組みとなっている。民間活用については、現在も財源として繰入金によるところが大きく、適正な料金で収益を上げ、事業を維持することは厳しい状況にあり、実行は難しい。今のところ抜本的改革について取り組む予定はないが、令和5年4月より公営企業会計に移行したので、現行の経営体制・手法を継続し、今後の状況を見ながら検討していく。